

リーグ戦のやり方

横浜地区高体連テニス専門部

1、試合の組み方

- (1) 日程；原則、7月17日（土）、18日（日）、22日（木祝）、23日、（金祝）、24日（土）、25日（日/予備日）で試合を組む。合宿、天候等で都合がつかない場合のみ、8月15日までに全試合が消化する。
- (2) 時間；1セットマッチ1試合約40分。従って、5ポイントの場合、1戦1面なら3～3.5時間。2面なら2時間。但しこれより長くかかる場合もある。
- (3) 1日に消化できる試合数（5ポイント）
1面・3戦　2面・6戦　3面・9戦
※原則1日での対戦数は1校あたり3対戦までとする。
- (4) 6校すべて同時に集まらなくてもよい。
例：1日に4校集まったら、その4校での対戦のみ消化し、後日残りの対戦を消化する。
- (5) 6校リーグの組み方の基本

第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦
A-F	A-B	A-C	A-D	A-E
B-E	C-F	D-B	E-C	F-D
C-D	D-E	E-F	F-B	B-C

* 以上の要素を元に試合を組む。以下に例を示す。

イ、2面1会場が2.5日確保できる場合。

	1日目	2日目	3日目
9時～	A-F	A-C	A-E
10時～	B-E	D-B	F-D
12時～	C-D	E-F	B-C
13時～	A-B	A-D	
15時～	C-F	E-C	
16時～	D-E	F-B	

ロ、3面1会場が2日確保できる場合。

	1日目	2日目
9時～	A-F	E-F
10時～	B-E	A-D
11時～	C-D	E-C
12時～	A-B	F-B
13時～	C-F	A-E
14時～	D-E	F-D
15時～	A-C	B-C
16時～	D-B	

* 試合は2・3面同時展開で行い、空いたコートに次の対戦を入れていく。

ハ、3会場（1～2面）が5日間確保できる場合（午前・午後に分ければ3日）、上の組み合わせで3会場で行う。

- * この他、試合が重複しないように、工夫して組んでほしい。
 - * 試合を組む際、コートを持っている学校は、あらかじめ面数と男女の使用日を決めておくが良い。
- 例；1日目－男子1面　2日目－女子2面

2、リーグ対戦表の書き方

校名		対戦校名		柳 川							浦和学院							堀 越						
勝 ち 点	得 ポ イ ン ト	得 失 ゲ ー ム	7/14 9:00 柳川							7/14 9:00 柳川							7/14 15:00 柳川							
			D1	D2	S1	S2	S3	P	D1	D2	S1	S2	S3	P	D1	D2	S1	S2	S3	P				
5	20	15	2	4	6	6	6	2	⑥	⑥	3	⑦	2	③	⑥	⑥	⑥	4	⑥	④				
			⑥	⑥	3	⑦	2	③	2	4	⑥	6	⑥	2	1	0	3	⑥	3	1				
1	8	-12	2	4	6	6	6	2	7/14 9:00 柳川	7/15 9:00 堀越	3	⑦	2	⑥	4	2	⑥	5	⑥	3	⑥	③		
			⑥	⑥	3	⑦	2	③	7/14 15:00 柳川	7/15 9:00 堀越	⑥	5	⑥	3	⑥	③	⑥	5	⑥	3	⑥	③		
3	14	3	1	0	3	⑥	3	1	取ったゲームと失ったゲーム数の差を記入(最後)							⑥	5	⑥	3	⑥	③			
			⑥	⑥	勝った試合数を記入(最後)							⑥	4	2	⑥	4	2	⑥	4	2				
			勝った対抗戦数を記入(最後)																					

3、試合結果の連絡

- (1) 試合が行われた日に、勝った学校（複数の試合が行われた場合は会場校）の顧問が、リーグ担当者に結果を連絡する。
- (2) リーグ担当者は全試合の結果を記録する。
- (3) 全試合終了後、リーグ担当者は順位を算出する。
- (4) 各校の顧問は最終戦終了後、リーグ担当者に連絡し、全試合の結果と順位を確認する。
- (5) リーグ担当者は全試合終了後、結果（リーグ勝敗表・試合結果記録用紙・実施報告書）を事務局に郵送する。

* 送付先；久保 裕紀（県立岸根高校）学校電話：(045)401-7872

送り先；〒222-0034 横浜市港北区岸根町 370 岸根高等学校 久保 裕紀 宛
FAX：(045)402-8406

- (6) 何か不都合が生じた場合、直ちにリーグ担当者に相談する。

4、順位の決め方

- (1) 5試合の内3試合以上勝ったチームに勝ち点1を与え(6人・5人のチーム同士の対戦では、両チームとも勝ち点なしの場合もありうる。)、勝ち点の多い順から1～6位まで並べる。
- (2-1) (1)が2チームで同点の場合は対戦で勝った方の学校を上位とする。
- (2-2) (1)が3チーム以上で同点の場合は次のようにして決定する。
 - ① 得ポイントの多い学校を上位とする。
 - ② ①が同じ場合、得失ゲーム(得ゲーム数－失ゲーム数)の値の大きい学校を上位とする。
 - ③ ②も同じ場合、2チームなら直接対戦で勝った方の学校を上位とする。3チーム以上の場合は当該校で再戦する。

5、日程変更のやり方(雨天等で試合が流れた場合)

予備日を設定し、雨天時も全チーム集合してその場で話し合うのがもっとも望ましい。それができない場合以下のようにする。

- (1) 当事校の顧問で連絡を取り、各校の都合の良い日時と、使用できるコートを確認する。
- (2) 試合を組み直す。ただし、すでに予定されている試合は変更してはならない。
- (3) 組み直す際に都合がつかない場合は会場を分割し、複数の日にまたがっても良い。また組み直す際は、1の試合の組み方を参考にせよ。
- (4) 変更された日程をリーグ担当者に連絡する。
 - * どうしても会場が確保できない場合は、リーグ担当者に相談すること。

6、リーグ担当者の仕事

- (1) 「出場可能日程・コート使用可能日程表」をもとに日程・会場を確定し、リーグ内の各校に日程・集合時間・会場を連絡する。
- (2) 「リーグ戦対戦予定表」を事務局にメールで送信する。
送信先 y-kubo@pen-kanagawa.ed.jp 県立岸根高等学校 久保裕紀 宛
- (3) 全試合終了後、結果(リーグ勝敗表・試合結果記録用紙・実施報告書)を事務局に郵送する。

7、その他

- (1) 不参加校はそのリーグの最下位として扱う。上位リーグに3校以上の不参加校がある場合、下位リーグの3校以上が昇格する。
- (2) 棄権した試合のスコアは6-0と見なす。
- (3) ボールの割り当ては各校均等に負担するように注意すること。ひとつの対戦5試合につき、1試合に1缶使用して、1校3缶用意すれば1缶余る。従って6校リーグでは1校15缶用意する。